

農 研 速 報

麦の生育状況(12月25日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月5日播種 小麦 (さとのそら)	分けつ期	かなり早い	気象概況:11月第1半旬～12月第4半旬(過去5年間の平年値との比較) 期間の平均気温は10.2℃で、平年(9.1℃)に比べ高かった。 降水量は87mmで、平年(109mm)並だった。 日照時間は256時間で、平年(282時間)に比べ少なかった。 生育状況(過去5年間の平均値との比較): (11月5日播種) ●さとのそら:出芽日数は7日(平年差－5日)で、かなり早かった。 主稈葉数は5.2枚(平年差＋2.0枚)で、かなり多かった。草丈は11.6cm(平年比97%)で、平年並だった。茎数は833本/㎡(平年比194%)で、かなり多かった。 ●カシマムギ:出芽日数は8日(平年差－5日)で、かなり早かった。 主稈葉数は4.5枚(平年差＋1.2枚)で、多かった。草丈は12.2cm(平年比112%)で、平年並だった。茎数は528本/㎡(平年比134%)で、やや多かった。 ●カシマゴール:出芽日数は8日(平年差－4日)で、かなり早かった。 主稈葉数は4.5枚(平年差＋0.8枚)で、やや多かった。草丈は14.2cm(平年比110%)で、やや長かった。茎数は632本/㎡(平年比135%)で、やや多かった。 (11月20日播種) ●さとのそら:出芽日数は13日(平年差－1日)で、平年並だった。 主稈葉数は1.9枚(平年差＋0.1枚)で、平年並だった。草丈は7.7cm(平年比104%)で、平年並だった。茎数は200本/㎡(平年比95%)で、やや少なかった。	【留意事項】 ・「出芽日数」は播種期から出芽期までの日数 ・「出芽期」は出芽可能個体の40～50%が出芽した日 ・「対平年遅速」は、出芽期を基に表記した。  【今後の管理】 3～4葉期以降、晴天が続く圃場が乾いているときに麦踏みを行う。
	六条大麦 (カシマムギ) (カシマゴール)	分けつ期 分けつ期	かなり早い かなり早い		
	11月20日播種  小麦 (さとのそら)	  出芽揃	  平年並		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	出芽 良否	出芽日数			主稈葉数		
				本 年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
11.5	小麦	さとのそら	良	7	－9	－5	5.2	2.8	2.0
	六条大麦	カシマムギ	良	8	－7	－5	4.5	2.2	1.2
		カシマゴール	良	8	－6	－4	4.5	1.5	0.8
11.20	小麦	さとのそら	良	13	－6	－1	1.9	0.5	0.1

播種期 (月・日)	麦種	品種名	草 丈			茎 数			葉色(SPAD値)		
			本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	11.6	106	97	833	362	194	41.6	93	99
	六条大麦	カシマムギ	12.2	144	112	528	240	134	50.2	121	114
		カシマゴール	14.2	128	110	632	281	135	33.1	96	95
11.20	小麦	さとのそら	7.7	154	104	200	100	95	41.4	110	121

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑)

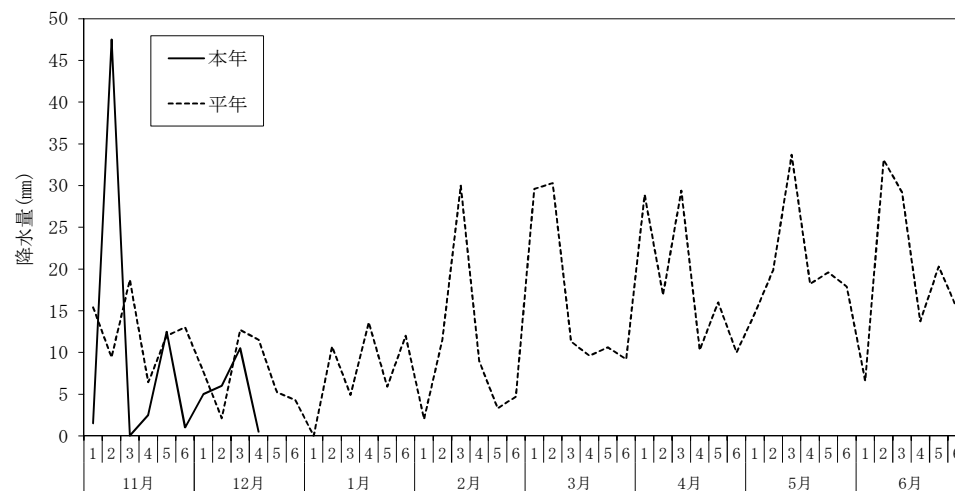
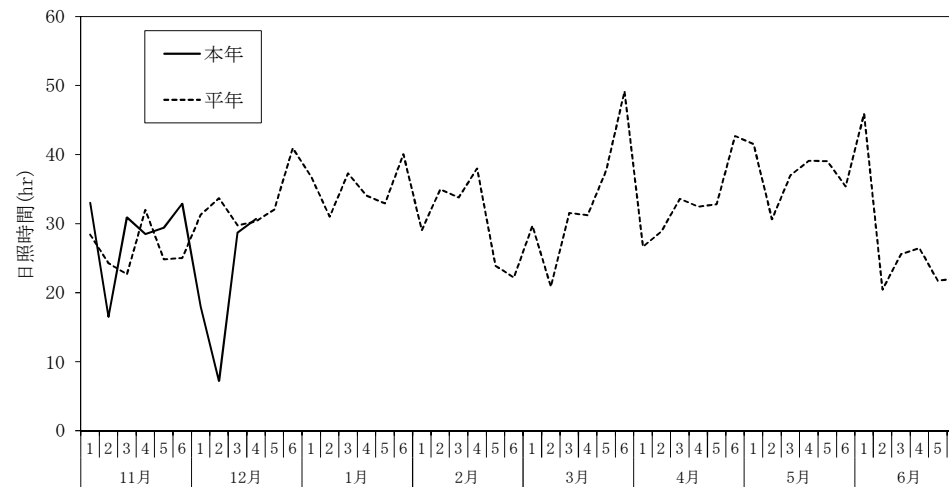
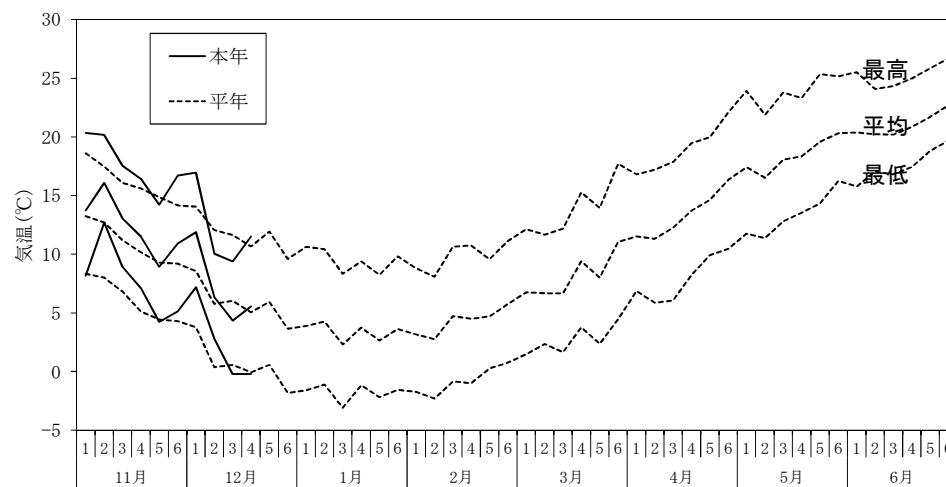
3)施肥量:N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O＝0.6-0.8-0.7kg/a

5)平年値:平成25～29年播種の結果の平均。

2)播種量:0.8kg/a

4)播種様式:畦幅30cm、シーダーテープ播種

6)麦踏み:12月3日(11月5日播種のみ)、12月25日



麦(平成30年播種)における半月別気象経過図  
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)



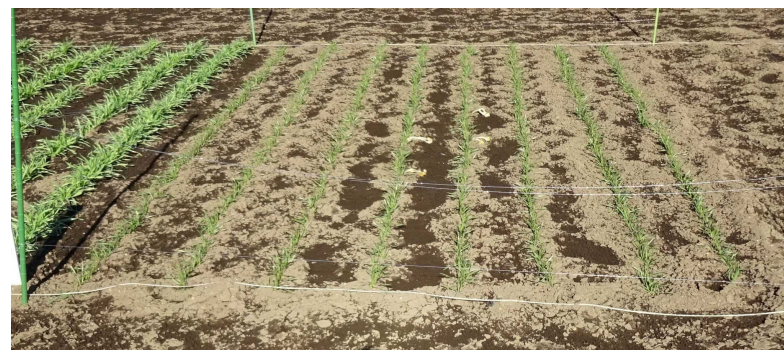
さとのそら 11月5日播種 (12月25日撮影)



カシマムギ 11月5日播種 (12月25日撮影)



カシマゴール 11月5日播種 (12月25日撮影)



さとのそら 11月20日播種 (12月25日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。  
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。  
さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

